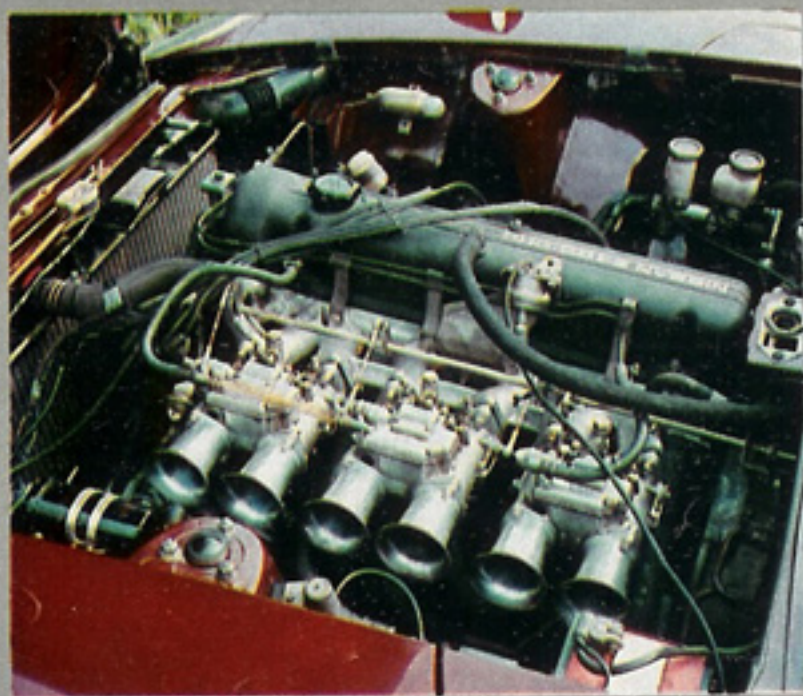


最高速度=208.39km/h
0→200m=9.38秒
0→400m 14.47秒



フェアレディ240Z-G (山本氏所有)



最高速度=196.45km/h(参考データ)

かく組み上げたものを壊したくなかったからで、適切なランニング・インが終り、セッティングを上手にすればかなり高いポテンシャルを持つことになる。

改造の内容は総排気量を2953ccにして、キャブレターはデロルト48を3個付けている。カムはオーバーラップ74度の高速型、三菱製フルトランジスターの点火系を持つ。

トランスミッションはオブション3と呼ばれるクローズドレシオに変え、ファイナルを3.700のリミテッドスリップデフにしている。

一方足回りはオリジナルのコイルを切断して車高を下げ、ダンパーはコニ製。後輪にスタビライザーを取り付けている。

ブレーキは4輪ディスクに改造、タイヤはピレリCN36、245/60VR14、ホイールは前が8インチ幅、後が8.5インチ幅である。当然マグネシウム合金製の軽量ホイール。

仕様を見て分る通り本格的な改造で、エンジンの出力アップに伴って足回りの改造、ブレーキの強化とバランスの取れた手の入れようである。

オリジナルのZは前輪にのみスタビライザーが付けられているが、後輪にもこれを取付けると運動性能が一段と向上する。ただしこれはあまり剛性を上げすぎるとオーバーステアになるので注意すること。一般的に言って後輪は軽く利かせるのがコツ。これによりハンドルのレスポンスが一見良くなったような気分がする。アンダーステア方向にしたければ前の剛性を上げて後の剛性を下げる。ニュートラルに近づけたい場合はこの反対にすれば良い。